あいさつ運動の好事例

玉野市立日比小学校
（児童数１５３名　教職員２１名）

～　目と目をあわせ、にっこり笑顔　～
毎日取り組む、あいさつ運動

アピールポイント

児童会の運営委員と校長先生が学校の下でみんなの登校をお出迎え。「目と目を合わせ、大きな声で笑顔であいさつ」を率先して行っています。

毎日の積み重ねで、あいさつが自然とできるようになってきました。道で会う近所の方にも自分からあいさつできているようで、学校を訪れる地域の方からお褒めの言葉をいただいています。

実際の様子

取組の概要

■児童生徒の実態

全校１５３人、各学年１クラスの小規模校であり、素朴で優しい子がいっぱいで、和気藹々とした雰囲気が学校にあります。地域とのつながりが強く、保護者の方だけでなく地域の方々も学校支援ボランティアとして積極的に学校に関わり、気軽に児童によく声をかけてくださいます。

■活動内容

・毎朝のあいさつ運動（校長、運営委員会〔児童会〕、教員〔交代で〕）
・お昼の放送【あいさつのよくできた登校班を紹介】（運営委員会）
・下校パトロール、交通指導（学校支援ボランティア、ＰＴＡ）
・小中合同あいさつ運動（毎朝のあいさつ運動に中学生〔生徒会執行部〕が参加）

■取組の参加メンバー

校長、運営委員会、教員〔交代で〕、学校支援ボランティア、ＰＴＡ、中学生

■取組の成果

日比小学校の児童は比較的大きな声であいさつできるのですが、恥ずかしいのか目と目を合わせたあいさつや笑顔であいさつをこれまで苦手にしていました。しかし、毎日のあいさつ運動の積み重ねで、そうした児童に変化が見られます。毎週お昼の放送で、いいあいさつのできた登校班を紹介することも励みになっています。また、月１回のペースで中学生が参加することや、登下校を見守る地域やＰＴＡの方からの声かけも大きいです。「あいさつ」が良好な人間関係や地域との交流につながっています。